

ワークログ（出勤から退勤までの1日の活動記録）を分析することは、「組織的な業務の見直し」につながります。今回は、働き方改革推進チーム会議のメンバー（小学校教諭）のワークログ分析の結果をご紹介します。

## 【ワークログ分析対象者】

校種：小学校  
 役職：教諭  
 担当学年：第6学年  
 （学年主任）  
 授業持ちコマ数：26時間  
 ※第6学年の週あたり授業時数は30時間  
 校務分掌：キャリア教育  
 実施時期：12月上旬



当該教諭は、強い責任感を持ち、児童・保護者のために何かできるかを考え、行動し、細やかな気配りができる、学校の中心的存在。常に笑顔を絶やさず、児童の主体的な活動をサポートしている。周りの若手教員の仕事ぶりに感心する一方で、その「働き方」を心配しているとのこと。

- 7:00～ 7:30 窓・通用口の解錠（日直のため）
- 7:30～ 8:05** 職員室での、欠席連絡等の電話対応（日直のため）
- 8:05～ 8:10 教室の電子黒板の準備・提出物の回収
- 8:10～ 8:25 朝の会での学級指導
- 8:25～ 9:10 1校時授業（総合的な学習の時間）
- 9:10～ 9:30 運動場での「モコングラン」（マラソン大会に向けた練習）
- 9:30～ 9:35 児童会の指導（全校児童への企画の周知）
- 9:35～10:20 2校時授業（書写）
- 10:20～10:25 4年生対象のキャリア教育出前授業の打合せ
- 10:25～10:40 書写授業の後片付け・個別児童への声かけ
- 10:40～11:25 3校時授業（社会科）
- 11:25～11:35 配付物の確認・牛乳パック等の片付け
- 11:35～12:20 4校時授業（学級活動）
- 12:20～12:35 児童による給食準備のサポート
- 12:35～12:45 給食指導をしながら、残りの給食を児童に配膳
- 12:45～12:55 自身の給食を食べる
- 12:55～13:10 児童による給食後片付けのサポート
- 13:10～13:30 カラダクラブ活動の指導
- 13:30～13:50 清掃指導
- 13:50～14:35 5校時授業（国語）
- 14:35～14:45 配付物の回収・授業準備
- 14:45～15:30 6校時授業（算数）
- 15:30～15:45 下校準備・帰りの会での学級指導
- 15:45～16:30** 児童下校後、窓・通用口の施錠（日直のため）
- 16:30～16:45 職員会議
- 16:45～17:20** 欠席児童への電話連絡
- 17:20～17:35 他の学級担任との打合せ
- 17:35～17:40 キャリア教育に関する業務
- 17:40～19:05 他の学級担任との打合せ・マラソン大会の準備と打合せ
- 19:05～19:50 テストの採点
- 19:50 「まだ教室でしたい仕事がある」とつぶやきながら退勤

※当該教諭退勤時、若手教員を中心に10名弱の教員が残っている状態

※勤務校の正規の勤務時間は「8:05～16:50」



## 分析による「気づき」や「振り返り」

★欠席連絡等の電話対応が多い  
 ⇒「学校と保護者の連絡アプリ」を導入したり、留守番電話を設定することはできないか？

※アプリでの欠席連絡と、電話連絡を選択できるようにすることで、保護者にとっても利便性が向上！

★毎日、多様な教科の授業を行う上に、「空きコマ」が限られているため、授業準備の時間を十分に確保することができない。

⇒「教科担任制」を導入することはできないか？

※同じ学年の担任間で授業を交換するだけでも、授業準備が減り、授業力向上にもつながります！

★児童放課後の事務的な業務を行う時間を確保するため、

⇒校時表・授業時数を見直すことによって、下校時刻を前倒しすることができないか？

※「カリキュラム・オーバーロード(教育課程の過積載)」解消により、児童の負担軽減にもつながります！